

地方創生で活気のある町に 議会だより

かつうら

No. 95

2023.4.30



2. 令和5年度 一般会計予算総額 39 億円

「就学支援」「給食費助成」「運動公園リニューアル」「2歳児保育料無償化」支援充実の子育てしやすい町へ

4. 《特集!》OVER TALK かつうらアップデート

『Z世代 × 勝浦町 ー仕事・結婚・子育て 新常識で未来を想像ー』

8. 《議員の目》視察報告

「ごみ問題を考える
広域ごみ処理先進地に学ぶ、“在り方”」

9. 追跡討論! 「どうなっとなで?」

10. 《議案審議》当初予算 / 補正予算

12. 一般質問

22. 令和5年度モニター / ぶっちゃけどうなの? 広報モニター会議

23. 議長コラム 勝浦想生 / 編集後記

24. ー地域のホシ ガンバルー人ー かつうらガンバロウズ

『松本 浩明 勝浦からBリーグへ!』

/ 今号の表紙はこんな人! 表紙探訪

令和5年度一般会計予算 総額38億8800万円 支援充実の子育てしやすい町へ

3月ひな会議は、3月2日から23日まで開催し、令和4年度補正予算、5年度一般会計予算、特別会計予算、条例改正等33議案と人事2議案を審議し、可決しました。また、一般質問に9議員が登壇し、町政に切り込みました。

「就学支援」「給食費助成」「運動公園リニューアル」「2歳児保育料無償化」

阿波かつらブランド化推進事業

商品・サービス支援、販売開拓、活性化協会及び町との連携強化、イベントの開催等

1698万円

道の駅周辺整備事業

災害時に使える公園を整備に向けた基本構想策定のための事前調査委託費等

170万円

河野 千夏（生名）

待ち望んでいた公園。子ども達が楽しく安心して遊べるような公園を期待しています。防災意識を高めるきっかけにもなるのでは。

特定地域づくり事業協同組合

事業協同組合設立準備に伴う費用。地域の担い手不足の解消と地方での人材確保により移住・定住人口の増加をめざす

373万円

内谷 安宏（坂本）

農業（柑橘）をされており収穫期の人手不足の解消に利用したい。しかし競争率が高そうで心配。派遣職員はどの程度確保できるのか。

プレミアム商品券

450万円

あゐさと納税事業

3100万円

地域公共交通体制整備事業

バスが通っていない地区に対して10月から実証実験をする

340万円

尾田 義枝（石原）

対象者を細かく分けなくても、車の運転ができない人とかに限定しては。回数も決めず、金額の上限だけを決めておいて、神山町のようにかかった分の15%の実費負担だと嬉しい。

高校生等就学支援

高校生の通学支援として1人10万円を支援する。

相原 愛子（棚野）

10万円は大変ありがたい。以前、長女が阿南方面の通学バスを利用していたが、下の娘が小さかったこともあり大変助かった。できれば引き続き午前の1便でも運行して欲しかった。



星谷運動公園リニューアル

運動公園の出入口付近に花壇を整備、遊具・ベンチ等整備。

福野 雅子（星谷）

運動公園の花壇を季節ごとに植え替えて、地域の美化活動をしています。リニューアルによって今まで以上に喜んでもらえたら嬉しいです。管理は大変ですが、子ども達が遊ぶ遊具も充実させてほしい。



学校給食費助成事業

令和5年10月から6ヵ月間給食費を無償化。

坂口 美由紀（沼江）

本年度も給食費の無料化が継続される事になり、物価高騰の中、子育て世代の家計への負担軽減にも繋がると思います。今後の継続にも期待しています。

子育て支援事業

3430万円

2歳児保育料無償化

2歳児の保育料を無償化し、保護者の負担を軽減する。

花房 絵利香（沼江）

私は2月に徳島市から勝浦町に引っ越してきました。4月からコスモス保育園に娘がお世話になっておりますが、まさかの保育料無料という事で大変ありがたく嬉しく思っています。

DX推進事業

1098万円

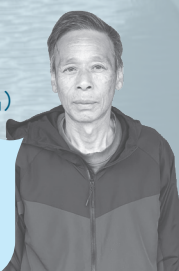
星谷橋架け替之事業

用地測量、一般補償・漁業補償調査等

4417万円

朔 重夫（生名）

潜水橋のため、大きな台風のために浸水状況の確認や通行止めをしたり大変であった。解消されると負担が減り、大変ありがたい。



令和5年度特別会計予算

国民健康保険	6億6072万円
介護保険	10億4066万円
後期高齢者医療	1億2809万円
物産販売	1730万円
住宅資金等貸付	57万円

令和5年度企業会計予算（収益的収入）

簡易水道事業	1億4700万円
勝浦病院事業	8億760万円
集落排水事業	5157万円



《テーマ》

「Z世代×勝浦町」

—仕事・結婚・子育て 新常識で未来を想像—

《プロローグ》 未来を担うZ世代

1990年代半ばから2010年代生まれの世代をさすZ世代。デジタルネイティブとも呼ばれ、生まれた時からインターネット環境があり、情報の収集源はSNS。多様性やサステナビリティに関心を持ち、仕事面ではワークライフバランス重視とも言われる彼らが描く理想の社会とは。

第5回目となる「OVER TALK」のテーマは、「Z世代×勝浦町 仕事・結婚・子育て 新常識で未来を想像」。少子高齢化に歯止めがかからない勝浦町ですが、県内の自治体間で比較すると、山間部の割には人口減少率が低く抑えられています。

今回は、次世代を担うZ世代に集まっていたき、仕事、結婚、子育てを軸に勝浦町の未来について話し合ってもらいました。

—— こんばんは。タイトル「オーバートーク」には、『語り尽くす』という意味があるので、勝浦町の未来について、本音で語っていただきたいと思っています。本日はどうぞ、よろしくお願いします。

全員 よろしくお願ひします。

《Q1》教育環境など、勝浦町に求めるものは。

資源は豊富にある
もって効果的な活用法を

—— 最初の質問です。小さな自治体だからこそ、きめ細かな子育てや教育環境の充実が可能と考えます。勝浦町の行政に求めるものは何ですか。

宮本 子どもの医療費無償化です。具体的な年齢層として0歳以上から高3までが良いと思う。理由として、子どもが多い家庭だと医療費が多くかかります。

松浦 教育面に着目。例えば横瀬小学校の取組み、「恐竜」や「み

《Q2》Z世代の結婚観は。

結婚には、金銭的ゆとりも大切

—— 次の質問です。「結婚観について」結婚という一言でどんなイメージでしょうか。

桑原 僕はまだ学生なのであんまり考えた事がないので分かりません。

鈴木 親の背中を見て育ってきたが、もっと親を超えていきたい。親父もおかんも最高ですけど、もっと最高な家庭を作って、パートナーと最高の結婚をしたいですね。

宮本 結婚に対するイメージは、この人と一生を過ごしたいと思える人と添い遂げる事だと思っています。すごくアニメに影響を受けています。

—— Z世代は現実的で堅実派らしく、今の回答を聞いてすごく当てはまる。では自分がどうなれたら、または社会がどうなったら、結婚や出産をしたいと思えますか。



かん」を活用した授業、マルシェの開催など全町的に展開し、勝浦の特産物を発信する力をつける。

高校生については、バスが1時間に1本程度で通学が不便。修学支援として1人10万円を配布する予定ですが、それ以外でも何か改善できたらと考えます。

鈴木 僕の経験から、中学校時代投げやりな教師がいた。もっと融通の利く、多様性を持った教育をしてくれる人を増やしてほしい。GTOの鬼塚英吉みたいな先生がいたら最高だと思います。

桑原 保育園を増やしましょう。増やしたら、働く人が増える。親も子どもを預けて、たくさん仕事ができるので保育所を増やすべきだと思います。

桑原 自転車で行っているが、雨の日は親にお願いしています。

—— 高校まで距離があるので、親や祖父母の手助けが必要。本当に皆さん苦労しています。あと事前アンケートでは公園整備への意見が多かった。勝浦町の公園は少ないと思いますか。

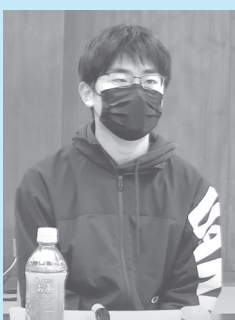
鈴木 メッチャ思います。使用禁止とか、草があままり刈れてないような所も。全部綺麗にするのではなく、少しで良いのでちゃんとした公園がほしいです。

—— 以前から、自然は豊かだが山が荒れ、ハメ(マムシ)やイノシシが出て、子どもと遊ぶのはちょっと怖い、危険だという意見がありました。



《ファシリテーター》
みぞがみ ゆみ
溝上 由美 (棚野)

NPO 法人 K-Friends のクラブマネージャー。
夫の退職を機にUターン。2018～21年県内の総合型地域スポーツクラブの設立や運営などに関わる。テニス、ゴルフで健康づくりをしている。



みやもと しゅん
宮本 駿 (星谷)
高校生

平成19年生まれ。
城東高校2年。

剣道部に所属。趣味はアニメと洋画鑑賞。物理が好きなので、将来は航空宇宙開発関係の仕事に就きたいと思っている。



くわはら あゆむ
桑原 歩武 (横瀬)
高校生

平成18年生まれ。
阿南光高校3年。

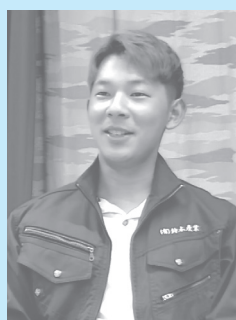
囲碁将棋部に所属。趣味はオンラインゲーム。将来はゲームプログラマーをめざしている。
『僕の人生はゲーム漬け』



まつうら ゆい
松浦 由依 (中角)
役場職員

平成12年生まれ。
勝浦町役場に勤務。

趣味は音楽鑑賞、読書。「太宰治」の大ファンで、大学の卒業論文のテーマにした。好きな作品は「人間失格」。



すずき ひろき
鈴木 裕基 (山田)
建設業

平成10年生まれ。
3代目として家業に従事。

掃除片付けが得意。その強みを建設業の労働環境改善に活かしたい。趣味は、スケボー、キャンプ、お酒。

《トークゲスト》 Z世代

勝浦生まれのZ世代の方々に集まっていたき、オーバートークしていただきました。



鈴木 今回の企画、すごい良かったです。こういう取り組みは毎年した方が良くと思います。

——では最後にお1人ずつ、今回の企画に参加した感想などをお願いしたい。

鈴木 そうですね。大きな博物館を作りたいですね。

作ろうよって意見があった。
宮本 博物館を作るのは良いと思う。

鈴木 アトラクション型博物館は子どもが来るので、親も来てお金を落としてくれる。

仕事だけではなく
家の斡旋なども包括的に

——次の質問です。勝浦町で働く場所を増やすためのアイデアをいただきたいと思います。

〈Q3〉勝浦町で働く場所を増やすには。

桑原 出合いの場を見つける。そのうち出合いがあると信じて、出合いがあったら結婚を考えようかなと。
鈴木 お金次第だと思います。お金があったら子どもは7人でも10人でも。人数に応じて給付金を渡すみたいなの。
宮本 今は忙しくて、人生設計も就職までしか考えてない。ゆとりが持てて、この人と結婚したいなって思える人ができたら結婚したい。

松浦 シンプルに給与と休暇の充実。子育ても大学まで行かせるとお金は絶対に必要。休みが取りやすい環境も大事になってくるのかなと思います。

鈴木 はい。

鈴木 建設業をしているが、勝浦町では若手不足。建設業だけでなく農業とかを含めて紹介できたら良い。
——企業と個人をマッチングっていう事ですね。

松浦 まずは企業誘致を。企業が勝浦町に来て会社を作れるような場所を確保する。そして、その会社勤めする人が住める土地、場所、家を作るっていうのが重要。

桑原 勝浦ではビッグひな祭りとか恐竜が有名なので、それをインターネットで配信して、たくさん人が来れば良いと思う。

——発信力が課題。年齢幅をもっと広げて、若い方からも発信してもらえたら良いなって思う。仕事する場はあるけど人がいないっていうのも切実で、就職のマッチングを身近な勝浦町でしてくればありがたい。

松浦 SNSで映えスポットといえば「坂本八幡神社の花手水」な

Suggestion!

勝浦町ふるさと大使を務められた森脇さんにも、勝浦町出身のZ世代の1人としてご意見を伺いました。

仕事づくり

松浦 いろんな人の意見を聞く事で、SNSの発信一つをとっても課題や改善点が見えてきた。職場や普段の生活の中で考えるきっかけになりました。
桑原 とても勉強になり、貴重な時間だった。

ひとづくり

勝浦町での教育は友人や教員、地域の方々と緊密な関係性を

どがあるが、発信数が少なく、行きづらかったりする。勝浦町は大阪からバスで2時間以上かかる。SNS等を駆使し問題点をどうしていくか考えていくべき。

〈Q4〉勝浦町を広めるためのアピールポイントは。

恐竜博物館など

もっと恐竜を活用してみても

——続いての質問は「勝浦町を全国、世界に売り出し、多くの方に認知してもらうためのアピールポイント」です。

宮本 みかんを使った商品を増やす。とても美味しいので。PRの仕方としてSNSまたは有名な人に商品を提供して、紹介してもらうなど全国にアピールできたら良い。

松浦 「日本最古の恐竜」が結構強みだと思う。私が東京にいたときに「日本最古級の化石が発見」のニュースが流れた。そこに、「勝浦町」「恐竜化石」という文字が出ていた。

桑原 外国人とか県外から来た人

宮本 自分1人で考えるより、色々な人と意見交換した方がたくさん意見が出てくる。これからも続けていってほしいです。

——オーバートーク勝浦アップデート。本日のテーマは「Z世代

築きやすい一方で、多様な働き方や生き方に触れる機会が少ないです。そこで全国で活躍されている勝浦町出身の方々から話を伺う機会を提供することで、多様なキャリアを考える機会を作ってはどうか。

まちづくり

「坂本家を活用した大学ゼミ実習の誘致・受入」による関係人口創出を提案します。大学との連携実績はありますが、坂本家を活用した滞在型の実習誘致によって若者と勝浦町との関係性を深め、将来的な移住検討やふるさと納税、今後の協働等に繋がっていくことが期待されます。継続的に繋がる関係人口の創出を工夫していくことが、町内外双方の目線で勝浦町を魅力的にしていくために必要です。



に遍路道がもっと分かりやすかったら、印象に残ってネットに上げてくれる。勝浦の遍路道は「なんかすごい」みたいな事を認識してもらえるのでは。

鈴木 みかんです。勝浦といえばみかん。また、清流勝浦川の水で作ったお米で純米吟醸酒を、洒落たパッケージで。世界的に日本酒ブームなので、世界に発信できる。

——恐竜の発信をもうちょっと深掘りたい。前回のオーバートークで勝浦町にジュラシックパーク

×勝浦町 仕事・結婚・子育て
新常識で未来を創造」という事で、4人のZ世代の方に集まっていたいただきました。本日は本当にありがとうございました。

全員 ありがとうございます。

Z世代は上の世代よりも現実的で実利を重視する傾向があると言われています。発信しやすい話題づくりよりも、地味であっても少ない労力や費用で挑戦を支援する事による、持続可能なまちづくりへの投資や政策実現が理想であると、Z世代かつ勝浦町に生まれ育った一人として考えています。

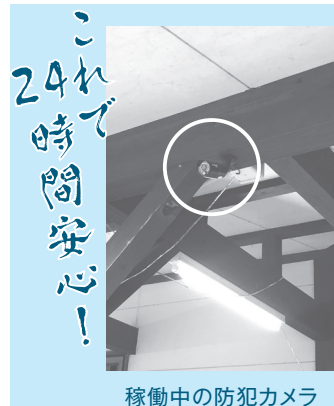


もりわき そうや
森脇 聡哉
東京都在住
平成11年生まれ。
勝浦町出身。

城東高校在学中、1年間休学しオーストラリアへ留学。同時期に勝浦町ふるさと大使として活動。今春、慶應義塾大学を卒業し、都内金融機関に就職。

どうなっとなんで?

アレコレ決めたその後のハナシ



徐々に増えてきた...

稼働中の防犯カメラ

4年経った現状は...
令和5年度予算で防犯カメラ3台購入（役場、福祉センター、農村環境改善センターの設置予定）合計7台設置予定。

問 主要幹線道路付近に防犯カメラを設置しては。（瀬戸）
答 個人情報保護法等の遵守、設置費や管理費等の検討が必要であるが、まずは道の駅への設置を検討する。
（令和元年 みかん会議）

誰が守りするんで?



清掃前（上）後（下）

4年経った現状は...
詰まっていた側溝、現在は適正に保守管理がなされている事を確認した。
今回は、清掃されたけど...

問 東部広域農道の保守
答 広域農道の保守ができていない。側溝が詰まっており2次災害の危険がある。（仙才）
答 県に保守を要望する。
（令和元年 若あゆ会議）

その後の検討は?



撤去前（上）後（下）

2年経った現状は...
遊具が撤去されたまま放置され、殺風景な農村公園。
遊具の撤去はされたけど...

問 公園の遊具撤去
答 新たな遊具の設置予定はない。住民の意見も聞きながら憩いの場として、既存の農村公園も含め、遊具等の点検や更新の検討が必要と考えている。
問 石原農村公園遊具撤去後 その後は?（瀬戸）
答 新たな遊具の設置予定はない。住民の意見も聞きながら憩いの場として、既存の農村公園も含め、遊具等の点検や更新の検討が必要と考えている。
（令和3年みかん会議）

勝浦町人権擁護委員の諮問に答申
谷尻廣美氏（中山）

徳島県県土整備政策課副課長、保健福祉部医療政策課広域医療室長等を歴任。妻、子ども3人。



政策監 佐藤健司氏

新たな政策監として、4月から佐藤健司氏（徳島市国府町）着任。



副町長 山田徹氏

勝浦町副町長 再任
副町長に山田徹氏（中山）を選任同意。



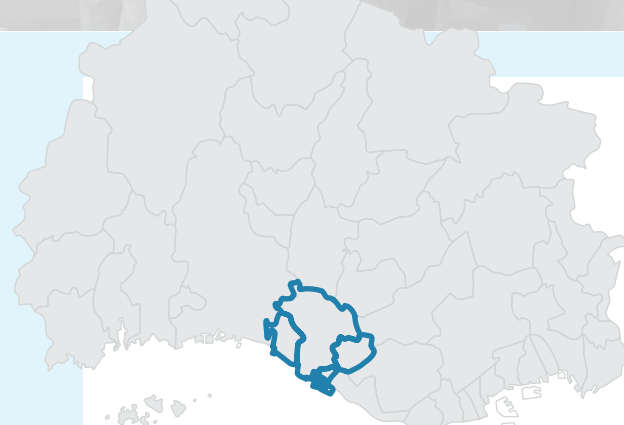
勝浦町に「新しい風」を吹かせる、強力な体制が組みられました。

ごみ問題を考える 広域ごみ処理先進地に学ぶ、“在り方”

1月23日に鳥取県三朝町、24日に兵庫県丹波市、25日に兵庫県稲美町と高砂市へ視察研修を実施。勝浦町では広域によるごみ処理をめざしていたが、徳島市の脱退により協議が頓挫。そこで、新たな枠組みや処分方法などを学ぶため、広域でごみ処理を推進する地域を訪れた。ごみ処理の広域化先進地の取り組みにはどんな学びがあるだろうか。

議員の目

視察報告



無人運転もできる『ごみピット』

兵庫県では、加古川市をはじめとする2市2町（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）で広域ごみ処理施設を建設し、令和4年6月に高砂市「エコクリーンピアはりま」という処理場を稼働。その建設までの経緯などの研修に稲美町へ、実際の施設の見学に高砂市へ行きました。
4つの市町は元々それぞれが処理施設を持っていたが、施設の老朽化のため、稲美町長の提案で協議会が設置され、10年を超える期間を経て昨年完成しました。稲美町は運営費が修繕費を含め年間約2億円かかっていましたが、焼却熱に

よる発電の売電収益により運営負担金は約2000万円となる見込みだそうです。
ごみ処理の広域化は、一般的に、施設の統合や集約化によって、単独施設を複数整備するのに比べ、施設建設費や維持管理費の削減が期待されます。しかし、近隣自治体との調整など、さまざまな課題も出てきます。本町においては昨年広域化の計画が頓挫しましたが、どう考えても広域化での対応が望ましいと思える研修でした。
また、三朝町では防災対策、丹波市では恐竜によるまちづくりについて学びました。



エコクリーンピアはりま

<https://eco-cleanpeer-harima.com/>



令和2年度の全国のごみ総排出量は4167万トン（東京ドーム約112杯分）、1人1日当たりのごみ排出量は901グラムです。
勝浦町では、年間4018万円のごみ焼却費用がかかっており、1人あたりに換算すると約8400円の計算となります。
焼却費用はごみの重量により変動するため、勝浦町は生ごみ処理機の購入に対し補助金を用意しており、ごみの削減に努めています。

当初予算

議案審議

子育て支援3400万円 子育てしやすい町に本腰

令和5年度は、子育て事業に多くの予算が割かれた。就任当初から「子育てしやすい町」をマニフェストに掲げる町長が、本腰を入れて教育・子育て支援に取り組む一年となる。また、地域公共交通体制の整備に向けての実証実験などにも予算が組まれ、老若男女が住みやすい勝浦町への第一歩が踏み出される。

防災・まちづくり
システムに対する相談と自治体システム標準化が主業務
—— C I O 補佐官の業務内容は。

C I O 補佐官は、原則オンラインでの相談を考えている。各職員とのシステムに関する相談、また自治体システム標準化への相談等を考えている。

C I O 補佐官
自治体などの情報化の推進支援をするためにC I O（情報化統括責任者）を補佐するために設置された役職。

防災公園の整備
地元住民から意見を聞きたい
—— 防災機能を有した公園整備事業の詳細は。

総務防災課長
公園整備基本構想の策定に向けた事前調査委託費を計上している。ワークショップのメンバーは決まっていないが、まずは地元住



道の駅周辺 公園整備の候補地

民や団体から意見を伺いたい。整備内容により、緊急防災・減災事業債の適用や整備する施設によって使える補助金の内容が変わってくる。

運動公園リニューアル
スケジュールを確認し進めたい

—— 整備内容を精査をするときに、以前から要望していた子どもの意見を取り入れては。

石木教育委員会事務局長

早期の実施を要望されているので、スケジュールを確認しながら進めていきたい。



薄暗い現在の廊下 横小

—— 運動公園の花壇整備、管理の見通しがついたのか。単年度ではないと思うが計画内容は。
教育委員会事務局長
今回のリニューアルで出入口あたりの空きスペースに花壇を整備したい。管理料は令和5年度、年間24万2000円である。

小中学校LED照明化
令和7年度までに順次対応

—— 横瀬小学校のLED照明に1600万円ほどの予算が計上されているが、内容は。

石木教育委員会事務局長

普通教室が9室、特別教室7室、廊下など施設内全てを更新する予定だ。計画では6年度生比奈小学校、7年度中学校を予定している。

観光・にぎわい

恐竜関係予算
マネージャー報酬492万円

—— 恐竜関係予算で、プロジェクトマネージャーと新たに委託型地域おこし協力隊を採用するが内容は。

石木教育委員会事務局長

プロジェクトマネージャーの報酬で492万円、採用に向けて取り組んでいる協力隊への委託料で480万円を計上している。

正算 補予

議案審議

防災・まちづくり

国土調査事業

令和5年度実施予定分を前倒しで追加補正、繰越。

1億1510万円



文部科学大臣杯
全日本少年春季軟式野球大会（静岡県）

教育・学術・文化及び体育・スポーツ振興補助事業
勝浦中学校野球部の全国大会出場に伴う増額補正。

37万円

教育・子育て

〈調査予定地区〉坂本・久国
町道棚野八石線整備事業
舗装及び道路付属施設施工（ガードレール・防草シート）
2024万円

財政調整基金積立
2375万円
1億5000万円
（3月末時点財調基金残高22億2212万円）
伴う繰入金を基金条例を制定し積み立てるもの。

財政調整基金

年度間の財源不足に備えるため、決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金。

令和5年 ひな会議
条例等を審議
勝浦町山林基金条例や職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例等、17議案について審議しました。

徳島市と勝浦町との間における一般廃棄物の処理に係る事務の委託の廃止について

—— 平成29年に広域協議が始まって、費用が約300万かかっ

金の返還請求はできるのか
後藤住民課長
各市町の負担金は、必要な事業費を毎年、年度末に徳島市が清算をしている。支払いについては、すべて清算済み。

—— 否決した場合どうなるのか

山田副町長

小松島市から新たな計画に声をかけられたときは、廃止の手続きが必要。今回は廃止し、新たな計画を立て、前に進んでいきたい。

勝浦町公の施設

指定管理者の指定について

かんきつテラスとくしま内の借受施設（オレンジファクトリー、サテライトオフィス等）を令和5年4月から1年間、NPO法人K I Friendsに委託。

勝浦町道路線の認定について

（横瀬上川原支線）

横瀬地区の宅地造成に伴い新設された町道。



一般質問

町政の“ここ”が聞きたい！

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

防 災 ま ち づ くり	パートナーシップ制度 導入は国で判断	美 馬	P.13
	通学路 外側線が薄くなっているのは認識している	花 房	P.14
	消防団員の人命救助について 消防学校での訓練も計画したい	花 房	P.14
	知事を選ぶ基準は「町全体の発展」	井 出	P.15
	ごみ焼却施設 時期を見て小松島市と協議したい	相 原	P.16
	消火栓修繕や新規要望については協議の上に対応している	瀬 戸	P.17
	前川キャンプ場 軽微な傷みは早急に修繕調査のうえ計画的に取り組む	節	P.18
	平石山 盛り土損傷時の修繕可能 安全対策されていると認識	仙 才	P.19
教 育 ・ 子 育 て	星谷橋架け替え工事 7年着工・13年完成予定	国 清	P.21
	県教委作成の手引きに沿ってニーズ調査・分析をする	松 田	P.20
観 光 ・ に ぎ わ い	学区問題の解消 意見・提言していきたい	松 田	P.20
	「ふれあいの里さかもと」町のイメージアップに寄与町としてももう少し頑張りたい	仙 才	P.19
農 業 振 興	道の駅周辺整備 多くの方々の意見を聞き取得できる用地に対し整備したい	国 清	P.21
	貯蔵みかん 令和5年に向けて体質強化・浮皮対策を推進	相 原	P.16
医 療 福 祉	新規就農支援3人活用	瀬 戸	P.17
	買い物難民対策は現行事業を充実していく	井 出	P.15
そ の 他	職員の不祥事再発防止のため 必要なら行政監査もお願いしたい	美 馬	P.13
	勝浦病院 入院を受け入れるが人数に制限がある	節	P.18

過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



準公金 総額763万円 扱い方のマニュアルはない

再発防止のため

必要なら行政監査もお願いしたい

―― 職員の不祥事による町長の責任を問う。

野上町長

関係者に大変迷惑をかけ申し訳ない。今後このような事が無いよう気を引き締め、徹底した管理を行っていく。

―― 職員の不祥事、会計処理の不正が行われていた。これは個人の資質の問題か、それとも組織の問題なのか。

町長

個人によるところが大きいですが、不祥事を起こさせる組織にも少し問題がある。

―― 準公金は不適切な事案が発生するリスクが大きく、職員のためにも行政監査を行い信頼を回復すべきでは。また、取り扱い時のルールはあるのか。準公金を扱っている団体の総数、総額は。

中瀬総務防災課長

発生要因や再発防止策等について協議する課長会議を開催した。防止対策は現在、整理検討を行っている状況で、5年度早々には町民に報告したい。準公金を取り扱う担当者の任期やマニュアルはない。20団体で総額763万169円。

準公金

業務の必要性や関連団体の要望等により、職員が取り扱っている公金以外の金銭で法令により管理方法は定められていない。

―― 今回の不祥事で直接迷惑をかけた方は何人か。

上村農業振興課長

狩猟者登録数は76名で迷惑をかけた狩猟者は43名。2月の猟友会理事会に町長と参加し謝罪した。

町長

信頼してもらえようこれからも住民に寄り添い、今一度気を引き締め考え直していく。必要なら行政監査もお願いしたい。

パートナーシップ制度
導入は国で判断

―― パートナーシップ制度導入について、導入しないとの新聞報道があった。町としての認識か。

後藤住民課長

町民からの要望もなく、国で判断される事が望ましい。

―― 区の役員に女性を推奨しては。

中瀬総務防災課長

区長会にお願いするなど女性が参画できる仕組みづくりや啓発等も必要と考え進めていきたい。

その他の質問

- 男女共同参画基本計画の進捗は
- 審議会や防災力に女性の登用は



様々な性のあり方、生き方を学べました

みまともこ
美馬 友子 議員

通学路の外側線 交通量も 考慮して施工を考えたい

外側線が薄くなっているのは
認識している

—— 車道外側線の目的は。

海川建設課長

道路の路肩部への逸脱走行を防ぎ、運転者のための連続的誘導線として悪天候や夜間時の自動車の快適走行を可能にする。また、車両と歩行者路外障害物との交通事故を減少させる事が目的である。

—— 消えている所が多くあるが管理体制は。

建設課長

道路管理者が維持管理をする事になっている。これまでも区や住民からの要望や情報等によって維持修繕してきたが、路面の穴ボコや段差の対応を中心に修繕してきた。

—— 外側線が消えている道路に通学路があり、特に危険と考えるが認識は。



線の消えた通学路

建設課長

通学路の外側線が薄くなっている事は認識している。道路パトロール時に線の表示状態も確認を始めたい。通学路等で自転車や歩行者等の交通量なども考慮して、区とも協議しながらライン施工等を考えていきたい。

消防団員の人命救助について

消防学校での訓練も計画したい

—— 町内で人命救助の事案が起

きた時の対応は。

中瀬総務防災課長

消防の役割は火災予防、消火、救急救助活動、地震風水害への対応となっている。交通事故における救助は救急救命士が、最低限の資機材を有しており対応は可能である。安全確認がとれない救助は近隣市町村へお願いする。

—— 救助要請の協定は結んでいるか。

総務防災課長

協定は結んでおらず、あくまで協力をお願いする形である。

—— 消防団員にも人命救助の訓練が必要ではないか。

総務防災課長

人命救助は命に係わる事である。専門的な知識が必要になるため、今後消防学校での訓練や講師を招いての訓練も計画していきたい。

その他の質問

- ふるさと納税について
- 議場での答弁について
- 道の駅周辺整備について

平石山鉾山 町長の姿勢変わらず 「町民の安心安全に尽力していく」

知事を選ぶ基準は「町全体の発展」

—— 令和5年5月に施行される「盛土規制法」によって、規制区域内で行われる盛土等は知事の許可の対象になる事が明記された。そこで、平石山鉾山問題を考える会が、知事候補4人にアンケートを実施した。

知事に就任した場合、「盛土規制法」を平石山鉾山に適用するかについて、「適用し盛土規制のために取り組む」は古田氏、飯泉氏

の2氏。後藤田氏は「関係者からこれまでの対応について考え方を聴取したい」三木氏は「対象となる事が明らかになれば、適用を検討する」と回答している。勝浦町長として知事を選ぶ基準に平石山鉾山の安全対策を重視するのか。

野上町長

町全体の発展を考えて選ぶ。

—— 町長の姿勢は一貫して変わらないのか。2021年3月議会

買い物難民対策は

現行事業を充実していく

—— 町内の商店が相次いで閉店して、買い物難民が増えている。町の取り組みはどうなっているのか。

長友福祉課長

高齢者支援として、買物バス、タクシー券配布等を行っている。また、買い物代行サービスをシルバー人材センターが30分700円、1時間1000円で行っている。さらなる周知に努めたい。

—— 今後の取り組み

はいつまでに具体化されるのか。

野上町長

新規事業ではなく現行の事業を充実していく。

その他の質問

- フレイル予防とサポーター養成を

い み ち こ
井出 美智子 議員

はなふさ かついち
花房 勝一 議員

広域ごみ処理連絡会議 町の今後のごみ処理は

解散

ごみ焼却施設 時期を見て
小松島市と協議したい

—— 広域ごみ処理の枠組み解消
の経緯と町としての方向性は。

後藤住民課長

令和4年11月30日に徳島市から
単独でごみ処理施設を整備をする
方針が示され、12月5日、勝浦町、
小松島市、石井町、北島町の4市
町長が広域ごみ処理連絡会議解散
を発表した。

その後、小松島市はごみ焼却
施設の基本構想策定の予算を上程
し、令和5年度中の策定をめざし
ていてと聞いており、時期をみて
協議の場をお願いする。

—— ごみの分別と軽量化の施策
は。

住民課長

分別ステーションでの適正な分
別、生ごみ処理機の活用もお願い
しながら、ごみの軽量化を図って
いきたい。

貯蔵みかん 令和5年に向けて
体質強化・浮皮対策を推進

—— 令和4年度産のみかんの出
荷状況と市況は。

上村農業振興課長

令和4年度産のJA出荷量予定
は約1000トンで前年より多く
なる見込み。出荷は2月上旬から
スタートし、3月上旬までの間、
安定した価格で推移している。

個選出荷は大阪名古屋市場など

では高値で1キロ400
円台後半に達する事も
あったと聞いている。

—— 品質はどうか。

農業振興課長

令和4年度産みかんは夏季にお
ける降雨により果実の肥大が進
み、平年より大玉が大幅に増加。
9月中旬の台風14号により果実の
傷が増加し、11月の高温と降雨に
より浮き皮が進み加工原料向けが
増えた。令和5年に向けては、み

かんの体質強化とし
てカルシウム剤、浮
皮対策としてジベレ
リンの活用等を推進
していきたい。



3月最盛期のJA 選果機

消火栓・防火水槽維持管理は 各消防分団にお願いする

修繕や新規要望については
協議の上に対応している

—— 消火栓、防火水槽の計画的
な設置基準は。

中瀬総務防災課長

消防庁の設置基準では、対象物
から140m以内の距離に設ける
と定められている。

—— 消火栓、防火水槽の維持管
理はどうしているか。

総務防災課長

各消防分団において点検、確認
をお願いして、修繕や新規要望が
ある場合は協議の上、対応してい
る。

新規就農支援3人活用

—— 遊休農地の把握はできてい
るか。

上村農業振興課長

農業委員会において年1回夏に
パトロールを実施し、随時農地の



トラクターと一緒に放置された遊休地

見守りをし、把握に努めている。
—— 遊休農地の解消に向けた取
り組みは。

農業振興課長

管理不全是高齢化や後継者不
在による担い手不足、条件不利地
等の複合的な要因がある。遊休農
地解消に向け、所有者に対して利
用意向調査などの書類を発行した
り、多面的機能支払交付金や中山

間地域等直接支払制度等の活用、
新規就農者の確保や農業者への支
援、有害鳥獣被害防止などの従来
の取り組みを総合的に継続してい
きたい。

—— 農業振興補助金の活用状況
と検証は。

農業振興課長

新規就農者支援事業を、令和4
年度は国の事業2人、町の事業1
人が活用している。農業振興対策
事業費補助事業の活用は取得備品
及び設備について、少なくとも5
年間は受給者が活用管理する事にな
っている。農地については、パ
トロールや中山間の農地維持管理
の指導を続けて
いきたい。

その他の質問

- 相続税、固定資産税に関する事

その他の質問

- 準公金の着服問題について

せと 直一 議員
瀬戸

あいはら 喜久男 議員
相原

前川キャンプ場 施設や駐車場の在り方を検討

軽微な傷みは早急に修繕
調査のうえ計画的に取り組む

—— コロナ禍の影響でアウトドア志向が高まり、キャンプ場の利用者が倍増している。しかし、樹木の伸び過ぎや施設の傷みで問題がある。対応が必要では。

寺尾企画交流課長

樹木の伐採は新年度で予算計上



大人気の前川キャンプ場

しているが、利用が始まるまでに実施したい。施設の軽微な傷みについては早急に修繕し、予算措置が必要なものについては、調査のうえ計画的に取り組みたい。

—— 施設を有効的に活用するには将来的な展望が必要ではないか。

企画交流課長

令和5年度中に外部の方の意見を参考にし、駐車場やバンガローの在り方について検討していく。

勝浦病院 入院を受け入れるが
人数に制限がある

—— 新型コロナウイルスは5月8日から5類へ移行される予定で、それに伴い医療費の公費負担や診療体制が見直される。6回目のワクチン接種の予定と費用負担はどうなるのか。

長友福祉課長

6回目は令和5年5月以降接種予定で、65歳以上の高齢者と5歳

以上の基礎疾患のある方、医療

従事者が対象となる。それ以外の方は今年9月以降の接種予定である。費用は無料の見通しである。

—— 勝浦病院で入院できるようになるのか。また、対応するために必要な事は。

笠木病院事務局長

勝浦病院では入院を受け入れる事になる。個室や換気設備が整った病室での入院となるので、人数に制限がある。

—— 検査や診察に対する個人負担は。

病院事務局長

5類移行後は原則自己負担となるが、高額なものは公費で賄われる。

ふれあいの里さかもと 「発想転換すれば夢や希望ある」

町のイメージアップに寄与
町としても少し頑張ってみよう

—— 「ふれあいの里さかもと」は開業21周年を迎えた。同施設について、どのように評価しているか。

野上町長

坂本小学校廃校後、農村体験宿泊施設「ふれあいの里さかもと」として再スタートしたが、この計画は本当に坂本地区に合っていた。地域が活性化され、また交



農村体験宿泊施設「ふれあいの里さかもと」

流人口も増加するなど、元気なまちづくりに貢献し、総務大臣賞や農林水産大臣賞などの受賞につながった。

地域の拠点として雇用創出や多大な経済効果、町のイメージアップなどが実現できた施設だと思

21年が経過し、ニーズにマッチしていない部分も出てきたが、発想を転換すれば夢や希望がある施設ができると考えている。町としてももう少し頑張ってみよう。

平石山 盛り土損傷時の修繕可能
安全対策されていると認識

—— 現行の盛り土施業案は、残壁上部からの落石対策が考慮されていない。落石で盛り土面が損傷したとき修復は可能か。また作業者の安全対策はなされているか。

海川建設課長

国からは補修は可能と聞いてい

る。また作業者の安全対策はなされていると認識している。

—— 町は県への意見書で「指摘した措置が確認できなければ、県が申請を許可する事は了承したが」と明記している。また県は業者への申請許可条件として「関係機関（町）の意見を十分尊重し事業を実施する事」としているが、尊重されていない場合、どのような行動が取れるのか。

春木政策官

県に確認したところ「勝浦町の意見を十分に尊重して事業を実施するよう求め、今後とも町と連携しながら指導する。」との事だった。

その他の質問

- 自治体DXへの対応
- 光ケーブル料金改定

その他の質問

- 職員不祥事事件、生かされなかった教訓

せんざい まもる
仙才 守 議員

しとみ こういち
節 公一 議員

部活動の地域移行 校長会で情報交換を予定

県教委作成の手引きに沿って
ニーズ調査・分析をする

—— 休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進める事になった。現状の課題と地域移行に向けた今後のスケジュールは。

石木教育委員会事務局長

希望の部活動がない、専門的な指導が受けられない場合がある。また、勝浦中学校では令和5年度より部活動への入部を自由化する



多くの子ども達が参加するキッズサッカー教室

との報告を受けており、影響を注視したい。

—— 今後は徳島県教育委員会が作成した手引きに沿って、教員と生徒対象のニーズ調査を実施し、分析を行っていく。さらに新年度1回目の校長会でK・F・R・e・n・d・sとの情報交換を予定している。

—— 部活動の地域移行の受け皿となり得るK・F・R・e・n・d・sの組織強化、既存のスポーツ、文化団体との連携強化も重要になる。山積する課題解決を目的に「地域プロジェクトマネージャー」の採用を検討してはどうか。

市川教育長

—— 地域プロジェクトマネージャーへの財政措置が1市町村に1人となっている。令和6年度以降の判断になるが、今回の提案を今後の部活動の地域移行やスポーツによるまちづくりへの取り組みの参考にした。

学区問題の解消

意見・提言していきたい

—— 令和5年度、高校生への修学支援として10万円給付が始まる。保護者の負担軽減策として喜んでもらえるが、向上心を持って学習に励む「生徒」にとっては不条理で不公平な「学区制」問題の早期解消が重要でないか。同じ考えの首長とともに行動を起こしてほしい。

野上町長

—— 学区制について県内首長との情報交換や知事懇談会等で意見してきた。地元の小松島西高校勝浦校との連携にも取り組みつつ、機会があれば意見、提言はしていきたい。

その他の質問

- ポストコロナへの取り組み

まつだ たかし
松田 貴志 議員

町長公約 道の駅周辺整備 「できる事から対応していく」

多くの方々の意見を聞き
取得できる用地に対し整備したい

—— 町長2期目の公約である「道の駅周辺整備」について、1年目には予算化せず遅れている。新年度でプロジェクトチームを立ち上げ協議し、地元関係者とワー



道の駅周辺の風景画

クシヨップで意見を聞き、基本構想を策定すると担当課長から答弁があった。整備はどれくらいの規模で行うのか。また、周辺には「人形文化交流館」や駐車場もあるが、整備に含まれるのか。

野上町長

—— 多くの方々の意見を聞き計画を進めて行くが、道の駅周辺で大きなイベントが続くと、来場者が多いので先にできる事から対応していく。整備の範囲は、町道「神の木線」から東の「人形文化交流館」や駐車場までの範囲で、取得できる用地に対し整備を考えたい。

星谷橋架け替え工事

7年着工・13年完成予定

—— 星谷橋架け替え工事が新年度予算で、詳細設計、用地測量、補償物件調査など4400万円が計上されているが、地元では早期着工を望んでいる。いつごろになるのか。

その他の質問

- 南海トラフ大地震に備えて
- 県道新浜勝浦線改良工事
- みかんのブランド化
- 美女と野獣で活性化
- 協働によるまちづくり

くにきよ いちじ
国清 一治 議員

令和の始まりと共に新しい議会の任期がスタートし、早4年が過ぎました。

町のために、今住んでいる町民の皆様の暮らしを守るために、そして自分も人として成長できるようにとマラソン議会を走ってきました。

議員それぞれの得意を活かしながら住民ニーズを裏づけ提案し、議員や議会が良い仕事をする事で議会のチーム力は高まり町も動きます。

地方を取り巻く環境は今後さらに厳しくなると

議長コラム 想生 勝浦

地方創生への議長の想い

明るい未来に!!



勝浦町議会議長 美馬友子

考えます。地域の未来像を議論し意思決定する事、多様な民意を集約する議会の役割は更に重要となります。

「誰がやろうが自分には関係ない」しかし生活の仕組みは行政と議員たちによって決められています。どうか無関心ではいられないと思ってください。「議員になりたい、暮らしをよくしたい、何かやりたい、暮らしをもっと、声を出して参画してほしいと強く願っています。」

町議会の活動に、ご理解、ご協力をいただいた町民の皆様に感謝申し上げます。



ようこそ!! 勝浦町へ

視察受入報告

- 2月9日 愛媛県西予市議会
愛媛県西予市議会から議会だより編集委員会(7人)が来町し、誌面づくりの工夫点やモニター制度の仕組み等について意見交換しました。

編集後記

今年は統一地方選挙の年。第一弾として県知事と県議選挙が行われ、20年ぶりに新しい知事が誕生します。

新型コロナウイルス対策やロシアのウクライナ侵攻などによる物価高騰対策など、今まで経験した事のない大変な時代に、これからの県政がどのようなようになって行くのか非常に気になる所です。

また、勝浦町でも6月に町議会議員選挙があり、前回は無投票でしたが、さて今回はどうなるのか。

広報委員会もこのメンバーで作成するのも最後となります。少し寂しい気もしますが、さらに進化できるように町民の意見を聞きながら、より良い広報づくりをめざし、住み良い勝浦町にして行くためのアイテムとしていきたい。

花房勝一

ふっちゃんけどうなの? 議会広報

3月27日 広報モニター会議を行いさまざまな意見をいただきました。さらに伝わりやすい誌面づくりや議会活動ができるように活かしていきます。

画像、写真等で訴えていったらどうか。

子ども達がたくさん載っている表紙を見てできれば名前を書いていただけたら。

全国コンクール1位の町との違いはパッと斜め読みしただけで理解できる。

いろんな世代の方に話聞いて記事にするっていうのはすごく良いと思う。

どれだけの人が読んでるかアンケートをとってほしい。

山内瑠実	生家道雄	高田薫	柿原孝子	西田直美	野崎裕之	唐渡永至	小西浩司	谷添美津子	中村颯也
坂本	与川内	横瀬	中山	棚野	生名	星谷	中角	今山	沼江

(敬称略)

令和5年度の広報モニター決定!



各地域からご協力いただいている議会広報モニターですが、今年度は次のみなさまにご協力いただきます



〈他自治体の議会広報もご覧になれます〉
令和4年度町村議会広報表彰
<https://www.nactva.gr.jp/html/commendation/result.html>



「議会だよりかつら」第92号
4年連続全国コンクール入賞
令和4年度全国町村議会議長会広報コンクールにおいて、317町村議会の応募の中、議会だよりかつら92号が、優良賞(8位)を受賞しました。
4年連続、そして、昨年より順位を一つ上げての受賞となりました。
審査委員からは「ご意見番」「OVER TALK」などの町民参加型企画、誌面とウェブの連動が評価されたようです。今後も引き続き町民が知りたい情報を分かりやすい表現方法を意識しながら発信していきたいと思っています。

KATSUURA 地域のホシ ガンバル人 GAMB★ROUS かつうらガンバロウス

地域でガンバル人（地域のホシ）は、活動こそ各々ですが、「地域を盛り上げる」というアツい想いは共通。そんな共通の想いを持つ人はみんな「かつうらガンバロウス」の一員です。



まつもと ひろあき
松本 浩明

1984 年生 勝浦町出身

【主な活動場所】町内体育館

6 年前に勝浦町に U ターン。令和 4 年 7 月から「Standup! ミニバスケットボールクラブ」を立ち上げるほか、幼児と親を対象にした「Standup! 運動教室サークル」も運営。



★ガンバリポイント

クラブ立ち上げは、娘にバスケットボールを経験させたかった事と、バスケットボールを子どもたちにコーチングする事で自分のスキルアップに繋がった事の 2 つが理由です。

少しずつ参加人数も増えて最近、練習中に男女ミックスではありますが、5 対 5 の試合ができるようになりました。

★これからガンバルこと

今年は、県の大会に男女とも参戦する予定です。バスケットを初めて 1 年も経たない子どもたちですが、毎回の練習で着実に上達している姿が見れてコーチ陣は嬉しく思っています。子どもたちが主体的にバスケットボールに取り組める環境を作る事を 1 番に考えています。町内外に関わらず保育園年長のお子さんからバスケットボールに興味がある人は体育館を覗きにきてください。

仲間のエール 応援する人の声

バスケットの魅力はもちろん、体を動かす事の楽しさを教えてくれます。今年は徳島県にもバスケットのプロチームが誕生します。将来的には「Standup!」からプロ選手が輩出される事を期待しています。

Standup! ミニバスケットボールクラブ

【活動日】

火・木・土曜日

【活動場所】

町内の体育館

【問い合わせ先】

松本浩明

h.matsumoto0525@icloud.com



町民の「笑顔」募集！



議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」！
詳細は下記 URL または QR コードをチェック！

<https://formok.com/f/1chm9gnl>



今回の表紙は、勝浦町子育て交流支援センター（沼江）が主催する「春の写真撮影会」にお伺いしました。

カメラマンを呼んで親子で写真を撮ってもらうイベントで、センターには元気な声が響いていました。

表紙探訪

今号の表紙はこんな人

